

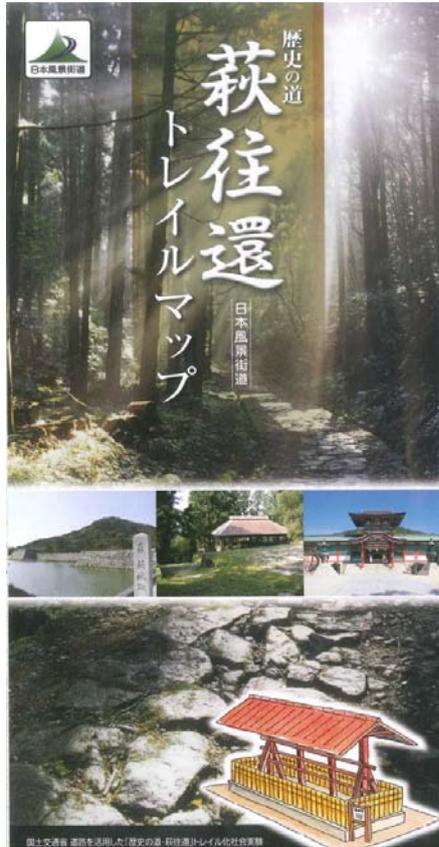
「萩往還」で道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験）を行いました。

国土交通省では、道路に関する先進的または斬新な施策について、現地で市民の方々にご参加頂き、効果や影響を確認するための、場所や期間を限定して現地実証社会実験を行っています。

平成25年度に公募をしたところ、山口県内で「道路を活用した【歴史の道・萩往還】トレイル化社会実験」が選定されました。

距離標示や案内標示を設置し、各標示が掲載してあるマップを活用しながら「萩往還」を安心安全に楽しみながら歩いて頂けます。

また、「萩往還」の維持管理について、広告スポンサー収益による試行を行いました。



萩往還は、毛利氏が萩城築城後、江戸への参勤交代で御成道としてひらかれました。日本海側の萩市から、山口市、瀬戸内海側の防府市をほぼ直線で約53kmあります。江戸時代には、山陰と山陽を結ぶ陰陽連絡道路として重要な交通路であり、幕末には維新の志士が往来し、歴史の上で重要な役割を果たしました。是非、マップを片手に萩往還を歩いてみませんか。「やまぐち萩往還語り部の会」では、ワンコインで萩往還をご案内してくれます。詳しくは電話 083-920-3323 Hp: hagi-okan.yamaguchi-city.jp

地元の和田小学校卒業生による「卒業記念植樹及び島地川ダム見学」を行いました。

島地川ダムでは、地元の周南市立和田小学校6年生7名による卒業記念植樹を行いました。水源地における自然環境を保護するための森林の大切さや、島地川ダムの役割を理解し愛着を持って頂くことを目的に行っています。記念植樹は平成9年から実施しています。過去に植樹したシダレ桜も立派に生長しています。今回はアジサイ7株とシダレ桜1本を植樹しました。「大きく生長し、花がいっぱい咲いて欲しい」と願いを込めながら丁寧に植樹をされました。

植樹終了後、高さ89mもあるダムの堤頂部や普段見られないダムの操作室を興味深く見学されていました。「ダムから放流されている水が水道に使用されることやダムが洪水被害から人命や財産を守るために、大雨による洪水を防いでいること」などのダムの役割について、小学生のみなさんは熱心に聞かれていました。



みんなで植えたシダレ桜と一緒に記念撮影
児童さんからは「10年後みんなと見に来たい」と伺いました



RIVARO[リバロ]とは

RIVer And ROad(川と道路)の頭文字。
山口河川国道事務所の川づくり、道づくりをイメージしてネーミングしました。
皆さまに親しまれる地域づくりを目指して日々頑張りますので、よろしくお願いします。
山口河川国道事務所のホームページにも掲載しています。

お問い合わせ: 山口河川国道事務所 計画課
0835-22-1819
山口河川国道事務所ホームページ:
<http://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

